

令和2年度 第1回村上岩船定住自立圏共生ビジョン審議会【書面協議結果】

1. 役員の選任について

○新会長を鈴木信之さんとする事務局提案に全員了承。

2. 令和元年度取組実績及び令和2年度取組について

No	意見・質問	回答
1	○岩船米販売促進事業 R2年度の取組として「岩船米改良協会」と明記されていますが、同協会は令和元年度で解散されているので訂正を。	「岩船米改良協会」は令和元年7月に「JA岩船米生産対策協議会」に一本化され解散しておりましたので、訂正（削除）します。
2	○自殺予防対策の推進 ゲートキーパーの養成研修を行っているが、実際にはどのような活動を行っているのか。	ゲートキーパーは、自殺の危険を示すサインに気づき、適切な対応が図れるように養成研修を受講し、悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて必要な支援につなげ、見守る活動を行っています。
	○全体 資料がおおまかな内容なので事業の中身がよくわからない。事業の一部をとりあげる形でもよいので内容がわかるような資料があると意見や質問がしやすい。	今後は、議論いただく対象事業を絞り現地視察なども組み入れながら、事業内容を深掘りしていきたいと考えております。併せて分かりやすい資料作成に努めます。
3	○図書館事業 R2年度の取組でコロナ禍の中、移動図書館車の運行による貸出強化策には大いに期待したい。	新型コロナウイルス感染予防対策も含め、貸出冊数と貸出期間の拡大延長や、移動図書館車の巡回数の増加により利便性の向上に努めます。
	○体育施設の相互利用の充実・広域観光ルート開発事業 R2年度の予算がゼロで良いのでしょうか。	体育施設の相互利用については、既存施設を利用する取組であり予算の伴わないものとなっています。 広域観光ルート開発事業については、現在のところ関係団体と連携しながら情報発信が主なものでありますが、今後、取組を拡充する際には必要な予算措置も検討していきます。
	○若者の地域間交流 R2年度は実施できなかったことと思いますが、本年度を契機に思い切った手法を検討してみてもは。	若者の地域間交流として平成30年度まで婚活事業を実施し、本年度からは関係人口創出・拡大事業として3市村それぞれの取組を継続実施しています。コロナ禍において事業実施が難しい状況ではありますが、新たな実施手法も含め検討していきます。